



# 慈・楽の心

法人理念  
「慈」とは、慶ぶ、愛する、大切に  
「楽」とは、心身が安らかで楽しい

発行：社会福祉法人 慈楽福祉会

法人本部：  
広島市安芸区中野三丁目9番5号 ■設立/昭和50年6月10日  
TEL (082) 893-6606 FAX (082) 893-6608 URL http://www.jiraku.or.jp

第87号 2012年(平成24年)9月1日



瀬野川ホームでは5月に新しい園庭が完成しました。陽光を浴び、風を感じ、土に触れ、花や果実を楽しめる空間です。落成式で皆様に植えていただいた花や野菜は、日々順調に成長しています。

## 園庭が完成土に触れ、収穫の喜びを

先日、皆様でナスを楽しく初収穫し、浅漬けを作りました。包丁を持つ時は、まさに現役の主婦そのもの。「やっぱり取りたての野菜で作るとおいしいね」と、にぎやかに味わいました。菜園の水やりは主に1階の方々にお願いして



願っていますが、「私と一緒に水やりに行ってくれませんか」と声を掛けてもシーンとする日があります。でも1歩園庭に出ると晴れ晴れとした顔をされて、「わーこれ大きくなってるよー」「これは、まだまだじゃねえ」と、楽しそうに水をまいたり、草を抜いたりしてくださいませ。



赤く熟れたミニトマトは日なたの味がして、「懐かしい味がするねえ」と、遠くを見ながら微笑まれる光景も見られます。



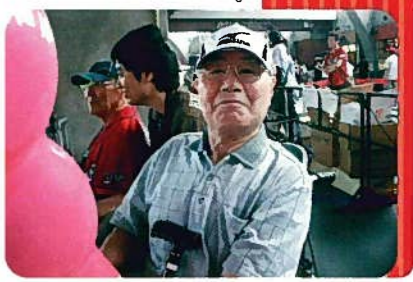
### 瀬野川ホーム事業所

〒739-0323 広島市安芸区中野東二丁目34番1号  
TEL (082) 893-1888 FAX (082) 893-1887  
E-mail/senogawa@jiraku.or.jp

- 特別養護老人ホーム
- 養護老人ホーム
- デイサービスセンター
- 家族会召集訓練
- 敬老会
- 彼岸法要
- 天幕防災夜間訓練
- みかん狩り
- 家族会班別会

行ってきました！  
待望のカープ観戦！  
ピア観音のデイケアには、男女を問わずカープファンのお客様が多く、勝敗に一喜一憂し、共通の話題で盛り上がります。3年前にマツダスーパースタジアムが完成し、皆様は興味津々。評判は耳に入りますが、実際に行ったらどうなるか、実際にあったことのあるお客様は少ないのが現状でした。「若いころは市民球場に何度も足を運んだけどねえ」と、昔話に花が咲いたりもしました。

スタジアムに行ってみたくてどうかを尋ねると、「車イスだから」「人に迷惑を掛けるから」と、行きたいけど行かない理由が並びました。せっかく「行きたい」と思える場所があるのに、行けない。お客様の「やりたい」が実現されていない。これは放っておけません。というわけで実現した観戦ですが、参加を募る際から皆様とても喜んでくださり、計画して良かったなあと嬉しく思いました。そして試合当日までの日々を、とても楽しみに過ごされ



### 観音事業所(ピア観音)

〒733-0036 広島市西区観音新町一丁目7番40号  
TEL (082) 503-7772 FAX (082) 503-7774  
E-mail/piakannon@jiraku.or.jp

- 介護老人保健施設
- 通所リハビリテーション
- 家族懇談会
- 敬老祝賀会
- 喫茶キリマンジャロ
- みかん狩り
- 割烹着交流会

「ケアハウス安芸中野」は、平成11年2月の事業開始以来、利用者と施設側が話し合った「運営懇談会」を開催しています。毎月、第2火曜日の午後に行うもので、この8月で162回目を迎えました。入居利用者・理事長・施設長・職員で構成され、「ご意見を伺い、健全な運営に努めること」「入居者が快適で、心身共に充実した生活を実現していただくための提案」管理規定、細則等の改変や、行事・連絡事項の伝達「意見箱にお寄せいただいたご意見」等について話し合っています。また毎回、「生活のワンポイント」として、看護師がその時期に必要な医療の情報や、簡単にできる体操、衣・食・住におけるアドバイスも行っています。



施設側は、可能な限り意向に沿って検討して参りますが、案件によりましては、入居の皆様方の賛同が必要な場合もありますので、止むを得ない事情での外出、受診、

## ケアハウス「運営懇談会」とは

- ケアハウス
- 特別養護老人ホーム
- ショートステイ
- デイサービスセンター
- ホームヘルパー
- 居宅介護支援事業所
- 法人本部
- 演芸会
- 敬老会
- 秋祭り
- ぶどう狩り
- 食事会
- 家族介護教室



### 本部・安芸中野事業所

〒739-0323 広島市安芸区中野三丁目9番5号  
TEL (082) 893-3360 FAX (082) 893-0522  
E-mail/akinakano@jiraku.or.jp



ナース服に身を包まれて

瀬野じらく房 石津 貞子様 (87歳)



いつも  
デイサー  
ビスにお  
元気に通  
われてい  
る石津様。

小学校低学年時代は病弱で、よく学校を休まれていたそうです。しかし高学年になると、元気に休むことなく学校に通われ、賞状ももらわれるほどに。病弱だった頃お世話になった看護師さんに憧れ、昭和19年10月に看護師試験に合格されました。

戦前は、中野地区の病院の見習いを経て、陸軍の医務科で看護師として働いていらっしゃいました。ところがその1年余り後、原子爆弾投下。

広島は一瞬にしてガレキの山に。その後から広島市内に入り、医薬品をリュックサックに詰めて救護活動をされたそうです。

終戦後は精神病院の看護師として20年間勤め上げ、ナース姿の写真は当時の石津様です。定年退職後は、コーススなどの趣味活動、地域の役員



など、地域社会活動に励み、今に至ります。看護師時代の経験を生かして、認知症になられたお母様の介護、そしてご主人を最期まで看取られました。

「皆さんが頑張ってくれているから、私たちも楽しく過ごさせています」と、にこやかな笑顔で職員に語ってくださいました。これから、私たち職員にいろいろなことを教えてください。

- 運営推進会議
- 家族懇談会
- 誕生日会
- 地域交流会
- 敬老会
- 非常時対応訓練

9月行事

瀬野事業所(じらく房)

〒739-0311 広島市安芸区瀬野一丁目3番1号  
TEL (082) 894-2255 小規模多機能型居宅介護  
TEL (082) 894-2200 デイサービスセンター  
FAX (082) 894-2266 E-mail/senojirakubou@jiraku.or.jp

- 小規模多機能型居宅介護
- 認知症対応型  
デイサービスセンター

ご存知ですか? 本部より

広島市のサービス利用料の軽減制度とは?

今回は、「広島市のサービス利用料の軽減制度」について簡単な解説をします。

介護保険サービスを利用する場合に、原則としてかかった費用の1割(10%)が利用者の負担になります。次のような軽減制度があります。利用料の軽減制度を受けるには、申請が必要です。

- ① 収入が激減した方などへの利用者負担軽減制度
- ② 被爆者の方への軽減制度
- ③ 重度心身障害者の方への軽減制度
- ④ 障害者の方への軽減制度
- ⑤ 社会福祉法人利用者負担軽減制度

当法人には該当するサービスはありません。

障害者自立支援法によるホームヘルプサービス利用の際、境界層に該当するため定率負担額が0円となっている所得の低い方の内、65歳になり、介護保険の対象となったなど、一定の要件に該当する方、または40歳から64歳までの要支援・要介護の方のいずれかに該当する方については、訪問介護等の利用者負担を軽減する制度があります。

⑤ 社会福祉法人利用者負担軽減制度  
社会福祉法人が提供する次のサービスを利用している方で、所得の低い方を対象に利用者負担を軽減する制度があります。対象となるサービスは、介護福祉施設サービス、訪問介護、通所サービスなど15種類です。

詳しくは、お住まいの区の担当課までお問い合わせください。

法人自慢の職員を紹介!

花は夜開く

瀬野川ホーム 長石 昭典 (介護主任・44歳)

今回は「瀬野川ホームの玉三郎」と、新館の長石昭典主任をご紹介します。

「おもてなしの心」が、お客様やお客様の「おもしろいよー。気兼ねなく冗談も言える」と、お客様やお客様の家族からの評判は上々。親しみやすい人柄で、冗談を言つては先に自分で笑い始めてしまうという、憎めない性格です。怒っているところは見たことがなく、穏やかな癒やし系。「とらえどころがなく、のれんに腕押し」という声も聞かれますが、何でも相談しやすい良き上司です。

忙しい中、釣りや芋掘り、茶会、新館を彩る飾り付けなど、お客様を楽しませる工夫に余念がありません。瀬野



中央の「セーラームーン」が長石主任

川ホーム通信の「入浴」の号では、肉体系美(?)を披露してくれました。

最後に、本人のコメントをいただきました。「平成22年4月に瀬野川ホームへ入社。慈楽福祉会で22年目に入りました。入社当初は男性介護職はいませんでしたが、現在は男性介護職も増え、頼もしく思う今日この頃です。入社当時の20代前半に比べ、足腰は衰えました。まだまだ「夜の蝶」、いや「夜の蛾」として舞っています。当施設ではいろいろな行事を企画し、お客様と共に参加して楽しんでいきます。今後もお客様の笑顔を大切に、娘に嫌われない程度に舞っていきたいと思います。これからもぜひお話しを聞かせてください。」

海田じらく房「そらめんと流し」



お昼の12時、いよいよスタートです。席に着くの待ちかたを、次々に箸が伸び、いつも以上に食が進んでいる様子。一生懸命にそらめんをすくう姿が印象的でした。また、本物の竹を使ったそらめん流しということ、感激してその場をなかなか離れない方もいらっしゃいました。

「落ちてしもうた!」…竹を囲む輪の中から、楽しそうに笑い声があふれていました。去年も開催したそらめん流し。今年も6月27日に、にぎやかに開催いたしました。

準備を始めると、利用者の方はソワソワ。「まだ外に出んでもいいんかね?」と、とても待ち遠しい様子でした。いなり寿司作りを手伝われる方も。手際の良さはさすが年の功!慣れた手つきで次々と作っていかれます。その見事な腕前に、職員も驚かされま

した。

た。皆様、笑顔で会話を楽しみなが、風情たっぷりのそらめんを味わってくださったようです。参加していただき皆さん、お越しいただき誠にありがとうございました。

当日は雨が降るのではとハラハラしましたが、無事に楽しいひと時を過ごすことができました。

当社は雨が降るのではとハラハラしましたが、無事に楽しいひと時を過ごすことができました。



海田事業所(じらく房)

〒736-0022 安芸郡海田町蟹原二丁目6番2号  
TEL (082) 847-5637 FAX (082) 847-5638  
E-mail/kaitajirakubou@jiraku.or.jp

- 敬老会
- グラウンドゴルフ
- いきいきサロン
- 誕生会
- カラオケ
- 運営推進会議